

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	上原輝男先生の経歴と研究の歩み : 略年譜
Author(s)	児童の言語生態研究会,
Citation	児童の言語生態研究 , 15 : 110 - 110
Issue Date	1997-01-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045185
Right	
Relation	



上原輝男先生の経歴と研究の歩み

—— 略年譜 ——

昭和二十年十月三日	丹波篠山に、父徳太郎、母健の長男として誕生
昭和七年 四月	篠山町立幼稚園入園(二年保育)
昭和九年 四月	篠山町立篠山尋常高等小学校尋常科入学
昭和十五年 三月	同小学校尋常科卒業
昭和二十年 四月	兵庫県立鳳鳴中学校入学
昭和二十年 三月	同中学校卒業
昭和二十四年 四月	広島高等師範学校文科入学(卒業時は国語科)
昭和二十四年 八月	広島駅頭にて被爆
昭和二十四年 四月	坂本学園興國高等学校教諭
昭和二十五年 四月	早稲田大学文学部芸術学科聴講生(郡司正勝先生に師事)
昭和二十六年 四月	東京都立桜水商業高等学校教諭
昭和二十六年 五月	東京高等師範学校研究科国語専攻入学「近松道行の研究」
昭和二十七年 四月	玉川学園高等部教諭
昭和二十九年 四月	國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻修士課程入学
	この間、折口信夫、西角井正慶、守随憲治三博士の指導により道行に関する美学的構造の研究
	同大学同大学院同研究科同専攻博士課程入学
	昭和四十年に至るまで、地方民俗芸能調査、歌舞伎十八番等に関する芸能伝承の考察
昭和三十二年 三月	國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程終了
昭和三十六年 四月	玉川大学文学部専任講師
昭和三十六年 五月	同大学同学部助教
昭和四十年 九月	「国語教材研究」(玉川大学通信教育部)著
	「英才教育研究所」設立に参加(英才児のためのカリキュラム作成)
昭和四十一年	日本テレビ映画「明治天皇」脚本(潤色)執筆
昭和四十二年 二月	成蹊大学文学部非常勤講師
昭和四十三年 四月	児童の言語生態研究会発足。同会主宰
昭和四十四年 五月	雑誌「児童の言語生態研究」発刊
昭和四十四年 七月	「小学校の国語かくあるべき」(学芸図書)著
昭和四十四年 四月	玉川大学文学部教授
昭和四十五年 四月	聖徳学園小学校の英才児学級開設時のカリキュラム委員委嘱
昭和四十七年 四月	肺癌手術(稲田登戸病院)
	「藝談の研究 —— 心意傳承考 ——」(早稲田大学出版部)著

昭和四十九年 二月	「小学校国語研究序説」(学芸図書)著
昭和五十四年 十月	國學院大學非常勤講師
昭和五十六年 四月	外務省国際協力事業団委嘱、中南米(含カナダ)八ヶ国の移住者子弟の日本語調査のため三十五日間現地踏査
昭和五十七年 五月	儀礼文化学会発足、常務理事就任
昭和五十八年 二月	「はなちがナンでえー子どものことはの記録」(童心社)編者
昭和五十八年 七月	NHKラジオ「ことばの十字路」出演(四回)
昭和五十八年 五月	テレビ朝日「徹子の部屋」出演
昭和五十八年 三月	「感情教育論 —— 子どもの言語生態研究 ——」(学陽書房)著
昭和五十八年 一月	この年より三年間、国立民族学博物館を中心にした共同研究に参加(子どものイメージ担当)。「子ども文化の原像」に掲載
昭和六十二年 三月	「子ども文化の原像」(日本放送出版協会)共著
昭和六十二年 四月	「心意傳承の研究 芸能編」(桜楓社)著
昭和六十二年 十月	西角井博士記念賞受賞
昭和六十二年 十月	心意傳承研究会発足
昭和六十二年 十月	文学博士の学位を國學院大學より授与
昭和六十二年 十月	「忘れ水物語 —— ある被爆者の記憶 ——」(限定私家版)著
昭和六十二年 八月	上原輝男先生文学博士号取得祝賀会
昭和六十二年 八月	警察大学校非常勤講師(剣道実技理論担当)
昭和六十二年 七月	児童の言語生態研究会二十周年記念講演会開催(於玉川大学)
昭和六十二年 六月	児童の言語生態研究会第十九回博報賞、文部大臣奨励賞受賞
昭和六十二年 三月	「忘れ水物語 —— ある被爆者の記憶 ——」(主婦の友社)刊
平成元年 三月	「小学校国語の授業はこうする 感情・思考・構え編」(学芸図書)編著
平成元年 一月	上原輝男先生最終講義(於玉川大学)「日本人のイメージの世界 —— かいまみの世界 ——」
平成三年 三月	「いのちの教育を再び —— 基層教育学試論集 ——」(明治図書)編著
平成五年 三月	「日本人の心をほどこく かぶき十話」(オリジン社)著
平成七年 五月	早稲田大学講師
平成八年 四月	十一日(木) 上原輝男先生、自宅で夜中の一時過ぎに入浴中、脳溢血で倒れ、ご逝去。享年六十八才。
平成八年 四月	通夜祭及び遷霊祭(於平塚斎場) 喪主長男多摩氏
平成八年 四月十三日	葬場祭(於平塚斎場)